

ほしい情報届いていますかー 広報紙は毎月1日・15日に発行

震度6強の地震発生！貴重な教訓を活かすために

とき 8月28日(金)

午前10時～

ところ 大島小学校グラウンド

8月30日(日)から9月5日(土)までは、「防災週間」です。

関東大震災が発生した9月1日を「防災の日」とし、その日を含む一週間は「防災週間」として、防災意識を高めるための期間とされています。

阪神・淡路大震災から3年半あまりが経過し、記憶の風化や防災意識の低下が危惧されています。この訓練を契機にいま一度、災害に対する日頃の備えを点検してみてください。

防災総合訓練

訓練は、震度6強の地震により電気、水道施設などのライフラインに相当の被害が発生し、道路は遮断され、家屋の倒壊や火災が発生するなか、大型台風が県南部に上陸し、河川の氾濫、土砂崩れなどの被害が発生したことを想定して実施します。

予定する主な訓練の内容は下記のとおりです。

これらの訓練には、地元自治会のみならずをはじめ、防災関係機関などから約四百人が参加する予定です。多くの人の参加と見学をお願いいたします。なお、駐車場が狭いため、乗り合わせてご来場ください。

また、訓練時には、緊急車両がサイレンを鳴らしたり、県の消防防災航空隊のヘリコプターが飛来



▶消防団による積み土のう工法訓練(前回の防災総合訓練)

主な訓練内容

①避難誘導訓練

避難者を収容するための避難所の開設と避難者の誘導を行います。

②初期消火訓練

地元自治会、婦人防火クラブなどの協力により、消火器、軽可搬ポンプなどによる消火訓練を行います。

③水防工法訓練

河川からの洪水を防止するため、地元消防団の協力により、積み土のう工法を行います。

④救出救助訓練

崖崩れなどにより生き埋めとなった要救助者を、猪名川建設協会などの協力により救出します。

⑤救急救護訓練

仮設救護所を開設し、川西市医師会の協力により応急処置を施すとともに、医療機関へ搬送します。

⑥ライフライン復旧訓練

町は飲料水の供給を行い、関西電力、ミツバ、N.T.T.の各社の専門チームがそれぞれ復旧訓練を行います。

⑦緊急救援物資搬送訓練

緊急救援物資を町商工会などの協力により、避難所へ搬送します。

⑧一斉放水訓練

各所で発生した火災を鎮圧するため、消防団による一斉放水を行います。



▲ヘリコプターによる救出訓練(前回の防災総合訓練)

したりしますので、あらかじめご承知おきください。問い合わせは、総務課(☎六六・八七〇八)へ。

たそがれコンサート

▷とき 8月29日(土)

午後7時～

▷ところ 総合公園

屋外ステージ

(雨天の場合はイナホール)

▷出演者 イナウインズ

▷入場料 無料

問い合わせは、イナホール(☎66-7400)へ。

訪問販売・キャッチセールス…、契約は慎重に！

消費生活相談コーナー(☎66-1110)

公民館講座の募集 ミュージカル講座

ミュージカルにふれ、その楽しさを知るための講座です。

▷内容 ダンス・歌・発声

▷対象 18歳以上

▷募集人数 30人

▷日程 9月24日、10月8・22日、11月5・19日(いずれも木曜日)

▷時間 午後2時～4時

▷ところ 中央公民館

▷申込期限 8月30日(日)まで

申込み、問い合わせは、中央公民館(☎66-8432)へ。

ふるさといながわ ガーデン・フェア

ふるさと館では、花と緑の展示即売会と講演会を開催します。ガーデニングに興味のある人、花が好きなお客はご参加ください。

即売会

▷とき 9月11日(金)～同13日(日) 午前10時～午後4時

講演会「楽しいガーデニング」

▷とき 9月13日(日) 午後2時～

▷講師 兵庫県花と緑の研究所長 藤岡作太郎さん

問い合わせは、ふるさと館(☎68-0389)へ。

※ふるさと館の電話番号が変更されました。

「輝ける女性に美しい！」
女性セミナー開催

「輝ける女性」、それは外見の美しさだけでなく、学ぶことを通じて常に自らを高めようとする内面の美しさを持つ人のことです。女性セミナーは、そんな輝きのある女性をめざすセミナーとして開催します。

▷とき 9月8日(火) 午後1時30分～4時

▷ところ 中央公民館(視聴覚ホール)

▽内容 「上方芸能」編集長であり、上方お笑い大賞審査員としてもお馴染みの立命館大学教授木村(☎六六・六〇〇六)へ。

▽受講料 無料

▽定員 150人(先着順、託児あり(先着10人まで))

▽締切 9月5日(月)まで(託児希望は、8月31日まで)

申込み、問い合わせは、社会教育課(☎六六・六〇〇六)へ。

津川計さんが「女性が支える地域づくり」をテーマに楽しく面白く、役に立つ講演を行います。また、ソプラノの飯山友子さんによるミニコンサートと音楽指導を行います。

永遠の平和はみんなの願い

阿古谷小学校

平和集会



上野 沙織さん
(6年・下阿古谷)

今年8月16日は、53回目の終戦記念日です。町では平成元年8月に「核兵器廃絶平和の町宣言」を行い、毎年夏に「平和を考える夏」を開催しています。

町内の各小学校では、6年生が修学旅行で広島を訪れ、平和の尊厳を学んでいます。そして、「平和集会」を開催して、修学旅行の報告を行っています。その平和集会では、6年生の報告だけでなく、各学年ごとに平和について考えたことを発表するなど、全校児童での取り組みがされています。

今回、阿古谷と大島の二小学校を取り上げ、児童たちが、平和について考えたこと、思ったことを紹介します。児童たちのことばから、あらためて「平和とは何なのか」を考えてください。(児童の作品は、一部抜粋して掲載しています)

平和集会で各学年が、それぞれ平和について考え、発表しました。(阿古谷小学校)



「平和集会で各学年が、それぞれ平和について考え、発表しました。」

大島小学校

戦争の事を勉強して



大島 勇くん
(6年・清水)

戦争は、世界で初めて原子爆弾を落とされた所です。無差別に、原爆一丸が落とされたら、大島小学校の敷地の上は、すべて焦土になります。

原爆一丸は、今でも世界遺産になっています。

平和集会では、平和の尊厳を学ぶだけでなく、戦争の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、戦争の愚かさ、戦争の無駄さを学びました。戦争の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、戦争の愚かさ、戦争の無駄さを学びました。

修学旅行



坂本 恵理奈さん
(6年・柏原)

修学旅行は、戦争の事を勉強して、平和の尊厳を学ぶだけでなく、戦争の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、戦争の愚かさ、戦争の無駄さを学びました。

戦争は、世界で初めて原子爆弾を落とされた所です。無差別に、原爆一丸が落とされたら、大島小学校の敷地の上は、すべて焦土になります。

原爆一丸は、今でも世界遺産になっています。

平和集会では、平和の尊厳を学ぶだけでなく、戦争の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、戦争の愚かさ、戦争の無駄さを学びました。

せんそう



北 真由美さん
(4年・上阿古谷)



戦争は、世界で初めて原子爆弾を落とされた所です。無差別に、原爆一丸が落とされたら、大島小学校の敷地の上は、すべて焦土になります。

原爆一丸は、今でも世界遺産になっています。

平和集会では、平和の尊厳を学ぶだけでなく、戦争の恐ろしさ、戦争の悲惨さ、戦争の愚かさ、戦争の無駄さを学びました。

8月31日まで夏の交通事故防止月間

若年者による事故急増！

吉松 楓子ちゃん
1歳2カ月 (つじが丘)

さっちゃんの笑顔が、家族みんなを幸せにしてくれます。パパとママの宝物です。

父 真一・母 幸子さん

片山 墨里ちゃん
1歳2カ月 (白金)

歌と踊りと水遊びが大好きな女の子です。お兄ちゃんたちをはじめ、家族みんなの宝物です。

父 剛次・母 真希さん

はい！ポーズ

おまかせ

おまかせ

おまかせ

おまかせ

おまかせ

おまかせ

おまかせ

道路・河川の愛護に協力を！

町と県では、毎年7月の「河川愛護月間」と8月の「道路を守る月間」にあわせて、各自治会・町民のみなさんに自治会内の道路や河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

しかし、交差点付近の空き地やガラの半イ捨て、歩道上の犬のふん、乱雑なゴミの放置、河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

自然豊かな河川・湖沼のイメージを損なうことのないよう、一人ひとりが道路や河川を大切に、愛護をもちて守っていきましょう。

問い合わせは、建設課 ☎90-8705へ

道路・河川の愛護に協力を！

町と県では、毎年7月の「河川愛護月間」と8月の「道路を守る月間」にあわせて、各自治会・町民のみなさんに自治会内の道路や河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

しかし、交差点付近の空き地やガラの半イ捨て、歩道上の犬のふん、乱雑なゴミの放置、河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

自然豊かな河川・湖沼のイメージを損なうことのないよう、一人ひとりが道路や河川を大切に、愛護をもちて守っていきましょう。

問い合わせは、建設課 ☎90-8705へ

道路・河川の愛護に協力を！

町と県では、毎年7月の「河川愛護月間」と8月の「道路を守る月間」にあわせて、各自治会・町民のみなさんに自治会内の道路や河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

しかし、交差点付近の空き地やガラの半イ捨て、歩道上の犬のふん、乱雑なゴミの放置、河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

自然豊かな河川・湖沼のイメージを損なうことのないよう、一人ひとりが道路や河川を大切に、愛護をもちて守っていきましょう。

問い合わせは、建設課 ☎90-8705へ

道路・河川の愛護に協力を！

町と県では、毎年7月の「河川愛護月間」と8月の「道路を守る月間」にあわせて、各自治会・町民のみなさんに自治会内の道路や河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

しかし、交差点付近の空き地やガラの半イ捨て、歩道上の犬のふん、乱雑なゴミの放置、河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

自然豊かな河川・湖沼のイメージを損なうことのないよう、一人ひとりが道路や河川を大切に、愛護をもちて守っていきましょう。

問い合わせは、建設課 ☎90-8705へ

道路・河川の愛護に協力を！

町と県では、毎年7月の「河川愛護月間」と8月の「道路を守る月間」にあわせて、各自治会・町民のみなさんに自治会内の道路や河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

しかし、交差点付近の空き地やガラの半イ捨て、歩道上の犬のふん、乱雑なゴミの放置、河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

自然豊かな河川・湖沼のイメージを損なうことのないよう、一人ひとりが道路や河川を大切に、愛護をもちて守っていきましょう。

問い合わせは、建設課 ☎90-8705へ

道路・河川の愛護に協力を！

町と県では、毎年7月の「河川愛護月間」と8月の「道路を守る月間」にあわせて、各自治会・町民のみなさんに自治会内の道路や河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

しかし、交差点付近の空き地やガラの半イ捨て、歩道上の犬のふん、乱雑なゴミの放置、河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

自然豊かな河川・湖沼のイメージを損なうことのないよう、一人ひとりが道路や河川を大切に、愛護をもちて守っていきましょう。

問い合わせは、建設課 ☎90-8705へ

道路・河川の愛護に協力を！

町と県では、毎年7月の「河川愛護月間」と8月の「道路を守る月間」にあわせて、各自治会・町民のみなさんに自治会内の道路や河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

しかし、交差点付近の空き地やガラの半イ捨て、歩道上の犬のふん、乱雑なゴミの放置、河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

自然豊かな河川・湖沼のイメージを損なうことのないよう、一人ひとりが道路や河川を大切に、愛護をもちて守っていきましょう。

問い合わせは、建設課 ☎90-8705へ

道路・河川の愛護に協力を！

町と県では、毎年7月の「河川愛護月間」と8月の「道路を守る月間」にあわせて、各自治会・町民のみなさんに自治会内の道路や河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

しかし、交差点付近の空き地やガラの半イ捨て、歩道上の犬のふん、乱雑なゴミの放置、河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

自然豊かな河川・湖沼のイメージを損なうことのないよう、一人ひとりが道路や河川を大切に、愛護をもちて守っていきましょう。

問い合わせは、建設課 ☎90-8705へ

道路・河川の愛護に協力を！

町と県では、毎年7月の「河川愛護月間」と8月の「道路を守る月間」にあわせて、各自治会・町民のみなさんに自治会内の道路や河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

しかし、交差点付近の空き地やガラの半イ捨て、歩道上の犬のふん、乱雑なゴミの放置、河川の環境を守るため、道路・河川愛護活動に協力していただいています。

自然豊かな河川・湖沼のイメージを損なうことのないよう、一人ひとりが道路や河川を大切に、愛護をもちて守っていきましょう。

問い合わせは、建設課 ☎90-8705へ

ちり

消防救助隊、消防団、婦人防火クラブ

閉じ込められた人の救助です。悲しいことに、特に今年に入って、交通事故件数の増加とともに、出動回数も増えています。今まで、さまざまな現場で、救助工作車の装備などを



救助隊
上田 充宏 隊員

上田充宏さんは、消防に入ってから十一年目で、救助隊としては六年目になります。

最初は、ロープの結び方をはじめ、救助用の何百にも及ぶ装備を正確に使いこなすための訓練など覚えることがたくさんあり、大変だったのですが、今では、その高度な知識と技術を身につけています。



▲消防団員による一斉放水
(平成10年の出初式で)

地域に密着した消防団

本町には、消防職員のほかに、消防団員がいます。消防団は、六小隊三十一の消防分団から成り、団員数は四百九十八人です。消防団は、地

域の安全確保のため地城住民によって組織され、地域と密接につながった公的機関です。団員は、それぞれ自分の仕事を持ちながら、災害発生時に出勤して地域住民の生命と財産を守る活動を行います。

「消防団」といわれると、火災時の火消しと思うのですが、それだけでなく、台風などによる水害の予防、行方不明者の捜索、年末の火災警戒などいろいろな業務に携わっています。

「団員だけでなく住居のみならずにも防火意識を高めていただき、もし家で火が出てしまった場合でも消火器などで初期消火できるような防災訓練などの機会には参加してほしい」と消防団長の村山博彬さんは話していました。

救助隊に半日入隊

オレンジ服にあこがれる上田特派員が、特別に救助隊の訓練を体験しました。

体験した訓練は、小隊を
組み、防火服やポンペを身
につけての救出訓練のほか、
ロープ渡過（とか）や降下

また、隊員の「煙道救出訓練」や「はしご登はん訓練」の模範演技を見て、あらためて日頃の厳しい訓練の様子を感じることができました。

救出訓練を開始



①隊長からの指示は「建物の2階に要救助者が1名。建物北側に階段、建物北側面の東側に入り口有り。建物内は煙が充満している」この指示で、建物をイメージ。



▲消防ではチームワークが大きな力になります。「整列」の掛け声で横一列になって隊長の指示を待ちます。



▲ロープ降下。より速く、より正確に3階から降りていきます。



▲ロープ渡過。地上7名のロープを渡りました。自分ひとりなので支えられましたが、要救助者を運んでいたら、自分まで要救助者になってしまいそうなほど、ハードでした。

始まりはバケツリレー！

栃木（とちぎ＝栃原と木間生）婦人防火クラブは、町の消防本部がで
きる以前の昭和四十四年（当時の名
称は栃木婦人消防班）に設立されま

に防火意識を高め、地元の安全を
ています。今までに、県知事か
彰されたり、日本消防協会から
贈メソンの奇贈も受けています



▲朽木消防団員に指導を受けながら、放水訓練をする朽木婦人防火クラブ（班員24人）

編集後記

私たちは、日頃から防災に関心を
持ち、子どもたちに火の恐ろしさを
教えたり、地域ぐるみの防災訓練に
参加したりして、防災意識を持つこ
とが大切です。いざというときに適

ねに。つて、あのカッコイイ救助隊
が成り立ち、そんな彼らに見守られ
ていると思うだけで安心してしま
うです。しかし、私たちは守られ
ているだけでなく、「火事を出さな
い。事故を起さない」と常に気を
つける義務があるように思いまし
た。

【上田美佐子】

切な行動（消火器を使った）初期消火や心肺蘇生法など）ができることが、必要であると感じました。日頃の災害への備えの大切さを実感するとともに、万一のときに備え訓練を重ねている消防本部や消防団が控えていることを心強く思いました。

今回のテーマは「生ビール」
給料日 妻のご機嫌 大シヨッキ
岡村 和子（つづじが丘）
畑仕事 生一杯で 生きかえる
ぼたんちゃん（上野）

おもしろ川柳

今回のテーマは「生ビール」

糸車日 妻の二機姓
岡村 和子(つづ

煙仕事 生一杯で生きかえる

ぼたんちゃん

ビール腹 欲しい腹巻 サイズな

都築 熊子

来月のテーマは「運動会」です。

同年八月二十五日、

二、田土公室私章以明之
